

橋本市 青少年センターだより

平成28年(2016年) 2月号
橋本市教育委員会 社会教育課
(青少年センター)

TEL/FAX (0736) 32-2124

genki@3rd.city.hashimoto.wakayama.jp

「鬼」のイメージと問われれば、虎柄のパンツに、牛のような角を思い浮かべます。この鬼のイメージ、丑寅の間(北東の方角)が鬼門というところで鎌倉時代から定着しているそうです。鬼退治に出かける桃太郎のお供は、「戌(いぬ)」「申(さる)」「酉(とり)」。これは鬼門の逆の方位を示します。さらに昔中国では鬼門には大きな「桃」の木がありそこで鬼を検問し捕らえていたとか。

立春が過ぎ、卒業式や高校入試、学年末へ向けての締めくくりと何かと忙しいこの時期、インフルエンザの流行が最盛期でもあります。健康に十分留意して子どもたちのためにがんばっていきましょう!

成人おめでとう

1月10日(日)成人式が行なわれ、橋本市では654人が大人の仲間入りをしました。

「自分たちで作る成人式」が定着し、華やかで厳かな雰囲気 of 式典でした。

新成人たちの大いなる飛躍を祈ります。



不審者対応防犯訓練 in Winter

学文路中学校、高野口中学校、隅田小学校、西部中学校で不審者対応の防犯訓練があり、不審者役、防犯教室の講師として参加してきました。教室や校舎内に不審者が侵入した際の先生方の対応の仕方、子どもたちの避難経路等を確認しました。地域の駐在さんも参加して本番さながらの訓練に、いつもは子ども達を泣かせてしまうほどの不審者役職員がたじたじでした。

防犯教室は県警派遣のベテラン補導職員が担当していますが、今春から新講師として青少年指導員がデビューしました。従来の補導職員とともに防犯教室の講師としてよろしくお願いします。

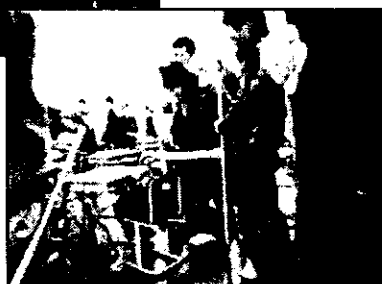
また、西部中学校では4月からの3中学校統合に伴う新しい通学路に防犯カメラが設置されました。4月からその通学路を通して新しい学校に通う予定の生徒たちに現場で不審者に声をかけられたことを想定したロールプレイ訓練で、対処法を学んでももらいました。



学文路中学校

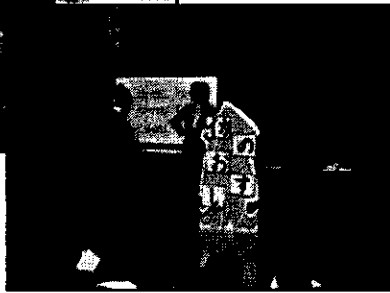


高野口中学校





偶田小学校



西部中学校



1 月補導状況 橋本署・かつらぎ署（橋本市内）分

学別 行為	小学生		中学生		高校生		有職少年		無職少年		その他		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
喫煙					2		6	1	4				12	1
深夜徘徊			3		5	3	10		3		1		22	3
粗暴行為														
怠学						1								1
暴走行為							2		1				3	
触法少年					3								3	
合計			3		10	4	18	1	8		1		40	5

有害図書等回収状況

有 害 図 書				そ の 他			
雑誌	マンガ・小説	DVD・ビデオ	合計	雑誌	マンガ・小説	DVD・ビデオ	合計
21	1	35	57	17	11	0	28

2月主な行事予定

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 日（月）要対協市民向け研修会 | 1 6 日（火）紀見東中学校区健全育成会 |
| 1 0 日（水）ネット安全推進教員養成講座 | 1 7 日（水）紀北センター会（紀の川市） |
| 1 5 日（月）ネット依存防止スキルアップ
セミナー | ネットモラル研修（信太小） |
| 1 6 日（火）かつらぎ署善行生徒表彰 | 2 5 日（木）橋本市善行児童生徒表彰 |
| | 2 6 日（金）学警青連絡協議会 |

センターのひとりで

「謝るとき、人は誰でも主人公」をキャッチフレーズにした映画「謝罪の王様」が2年ほど前にヒットしました。「謝罪師」なる職業の男が、依頼人にかかわって謝罪し次々とトラブルを解決していくコメディでした。この当時、「謝罪師」は架空の職業とされていましたが、今、親や会社の上司になりすまし、相手先に謝罪に行く「謝罪代行業」がビジネスとして繁盛しているそうです。

日本は「謝罪の文化」だと言われます。諸外国に比べて日常的に「すみません」、「ごめんなさい」がよく使われ、外国人からは奇異に見られ、ときには自分が悪くなくても先に謝ることさえあります。そこには「お互い様」、「水に流す」という寛大な気持ちがあり、対人関係をスムーズにする先人の知恵があったのだと思います。

モンスターペアレントの研究で有名な大阪大学大学院小野田正利教授は、「謝罪代行業が成り立ってしまう社会はどこか変だ」と違和感を抱いています。「謝るという人の心（誠意）を代行業にお金を払って頼むということでわずらわしい時間を短縮できるだろうが、それがもたらす負の部分が大い」と。

謝るというのは、相手への謝罪であると同時に自分の過ちを認めて反省する「自戒の念」が含まれています。その謝罪を代行業者に委ねたり、謝られない人は内省することなく、自らの成長を止めてしまうことになりかねません。

謝罪代行まででなくとも、コンビニや飲食店などではアルバイトの学生さんたちに代わり店長やマネージャーが処理することが多くあるそうです。また学校現場でも子どものトラブルを、保護者が取って代わったり、謝罪を拒否するケースが目立ってきています。

トラブルを全て回避することができればいいですが、そんな虫がいいことは絶対にありません。特にまだまだ未熟な子どもたちの世界では、加害側になること被害側になることもいくらかでもあります。謝罪師に頼らず、重苦しい空気に耐え許しを乞うこと、またそんな相手を許すことは子どもの成長に大いに役立つと思うのですが・・・。